

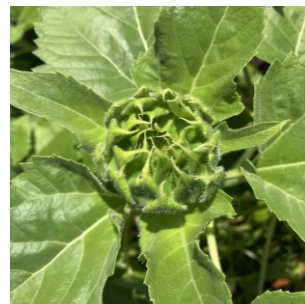


■保護者アンケート結果速報

お忙しい中、一学期末保護者アンケートに回答いただきありがとうございます。学校運営の重点目標等は、学校、保護者、地域から構成される学校運営協議会の協議を経て決定しますが、目標達成の状況进行评估・検証することが大切です。その意味で、学校評価をいただき重ねてお礼申し上げます。速報の結果をお伝えします。ここでは、肯定的回答率の高い項目と低い項目を示しますので、ご覧ください。肯定的回答率の高い項目は、何れの項目もうれしい項目です。引き続き、学校としても力を入れてまいります。肯定的回答率の低い項目は、昨年度に引き続き、整理整頓、主体的行動、家庭学習です。これらの項目は、本校の課題と捉えて、今年度、学校の重点目標として取り組んでいるところです。まだ、成果をお示しすることができていませんので、子どもへの声かけ、動機付けについて、より一層知恵を絞って行っていきたいと考えます。課題であった言葉使いにつきましては、改善傾向が見られました。昨年度から、繰り返し相手意識を持つことの大切さを伝えてきた結果と考えますが、この結果に甘んじることなく、気を引き締めて引き続き取り組んでまいります。なお、整理整頓、家の仕事を含む主体的行動、家庭学習につきましては、ご家庭のお力添えも必要となる項目です。気が緩みがちな夏休みこそ、適切な生活習慣が一層重要となりますので、声かけと励まし、動機付け等、ご協力をよろしくお願いいたします。

＜肯定的回答率の高い質問項目＞

- ・お子さんは、**楽しく学校に通っている**と思いますか。(97%)
- ・お子さんに、**よいところを伝え、ほめて**いますか。(97%)
- ・学校は、子どもにとって**安全・安心な学校づくり**に努めていると思いますか。(96%)
- ・お子さんは、**困った時に家族に相談**していますか。(96%)



<肯定的回答率の低い質問項目>

- ・お子さんは、家庭で片付けや整理・整頓ができていますか。(54%)
- ・お子さんは、家庭の仕事に自分から進んで取り組んでいますか。(63%)
- ・お子さんは、家で毎日決められた時間の学習をしていますか。(70%)

■大切な動機付け

教職員は学校経営目標を達成するために、子どもたちに様々な動機付けを行うことを取組目標に掲げています。具体的には、「ふり返りや作文に、良い点と次の学びに繋がる課題を明示する」、「授業や行事等で、児童が主体的に行動するように、動機付けを行う」など。教職員に対しても取組を行ったかを問う一学期末アンケートを実施します。これは、できたかできていないかをただチェックすればよいアンケートではありません。教職員は、学校の経営を行う主体ですので、目標達成に繋がる取組を行うことが求められます。できていないのであれば、どうすればできるのかを真剣に考えて行動する必要があるのです。なお、動機付けは、教職員の腕の見せ所でもあります。日常的に児童をよく見守っていれば、個に応じた動機付けは可能ではないでしょうか。児童を見ていて気になる点は、先生に言われたことをしているので一見きちんとしているように見えるものの、形だけやっているように思えることです。残念ながら形骸化した取組からは、成果を得ることができません。その取組の意味を何度でも繰り返しきちんと伝えることも、動機付けの一つ。宿題、おうちトレーニング、すいみんふり返りカード。大丈夫でしょうか。

